

全国特別重点調査結果

単位：m、千円

管路調査の対象施設	管種	管径	調査対象延長	調査完了延長	調査未実施延長	調査結果									布設年度	経過年数 (R8.3末時点)	
						緊急度Ⅰ			緊急度Ⅱ			緊急度Ⅰまたは 緊急度Ⅱに 該当しない	緊急度Ⅰ、Ⅱ合計				
						要対策延長	対策費用	対策方法	要対策延長	対策費用	対策方法		要対策延長	対策費用			
合流管 ・ 污水管 (資料2)	① 八重田合流1号幹線	コンクリート管	2,300mm~3,700mm	4,668	4,668	0	0	0	-	15	5,634	断面修復	4,653	15	5,634	1976~1981	45~50
	② 八重田合流2号幹線	コンクリート管	2,000mm~2,200mm	1,087	1,087	0	203	202,766	管更生	69	18,966	断面修復	815	272	221,732	1966~1967	59~60
	③ 八重田污水幹線	コンクリート管	2,000mm~2,400mm	1,677	1,677	0	0	0	-	0	0	-	1,677	0	0	1980~1986	40~46
小計	-	-	7,432	7,432	0	203	202,766	-	84	24,600	-	7,145	287	227,366	-	-	
雨水管 (資料3)	④ 八甲雨水幹線	コンクリート管	2,000mm~2,500mm	2,474	2,447	27	560	489,445	断面修復	86	22,472	断面修復	1,800	646	511,917	1972~1982	44~54
	⑤ 千刈雨水幹線	コンクリート管	2,700mm~2,900mm	754	754	0	22	24,514	断面修復	94	34,312	断面修復	638	116	58,826	1974	52
	⑥ 柳町雨水幹線	コンクリート管	2,100mm~2,400mm	2,810	2,810	0	20	16,505	断面修復	6	1,730	断面修復	2,784	26	18,235	1979~1981	45~47
	⑦ 羽白雨水幹線	コンクリート管	2,000mm~3,000mm	219	219	0	0	0	-	23	6,059	断面修復	196	23	6,059	1978~1981	45~48
	⑧ 富田第二雨水幹線	コンクリート管	2,000mm	428	428	0	0	0	-	1.5	394	断面修復	426	1.5	394	1993	33
	⑨ 篠田雨水1号幹線	コンクリート管	2,200mm~2,400mm	255	255	0	0	0	-	15	5,046	断面修復	240	15	5,046	1990	36
	⑩ 三内雨水1号幹線	コンクリート管	2,200mm~3,900mm	101	101	0	0	0	-	10	3,241	断面修復	91	10	3,241	1981~1988	38~45
	⑪ 新城都市下水路	コンクリート管	2,200mm~2,300mm	409	409	0	0	0	-	10	3,037	断面修復	399	10	3,037	1986~1994	32~40
	⑫ 浜田第一雨水1号幹線	コンクリート管	2,000mm	77	77	0	0	0	-	3	788	断面修復	74	3	788	1978~1981	45~48
	⑬ 浜田第二雨水1号幹線	コンクリート管	2,300mm~2,700mm	352	352	0	0	0	-	2	438	断面修復	351	2	438	1983~1994	32~43
	⑭ 浪打雨水1号幹線	コンクリート管	2,000mm~2,700mm	445	445	0	0	0	-	1.5	438	断面修復	443	1.5	438	1983~1991	35~43
	⑮ 勝田第一雨水1号幹線	コンクリート管	2,000mm~3,000mm	1,089	1,089	0	0	0	-	0	0	-	1,089	0	0	1981~1984	42~45
	⑯ 駒込川右岸第二雨水幹線	コンクリート管	2,000mm	40	13	27	0	0	-	0	0	-	13	0	0	1993	33
	⑰ 戸山第五雨水幹線	コンクリート管	2,000mm	410	410	0	0	0	-	0	0	-	410	0	0	1980~1981	45~46
	⑱ 矢作雨水1号幹線	コンクリート管	2,400mm~2,700mm	35	35	0	0	0	-	0	0	-	35	0	0	1991	35
	⑲ 原別第二雨水1号幹線	コンクリート管	2,100mm	3	3	0	0	0	-	0	0	-	3	0	0	1991	35
	⑳ 柳川雨水放流幹線	コンクリート管	2,700mm	23	0	23	0	0	-	0	0	-	0	0	0	1990	36
	小計	-	-	9,924	9,847	77	602	530,464	-	252	77,958	-	8,993	854	608,422	-	-
	合計	-	-	17,356	17,279	77	805	733,230	-	336	102,558	-	16,138	1,141	835,788	-	-

今後の対応

◆対応方針

緊急度Ⅰと判定された管路のうち合流管・污水管については、下水道管の内側へ更生材を巻き付ける工法等で管の強度を保つ「管更生工事」を、雨水管については、表面被覆・補強による「断面修復工事」を実施予定。

緊急度Ⅱと判定された管路については、今後、表面被覆による断面修復工事を実施予定。

緊急度Ⅰ、Ⅱと判定された下水道管路について、今年度、空洞調査を実施予定。

【対策費用(概算)】

緊急度Ⅰ・・・約733,230千円

(管更生:202,766千円、断面修復:530,464千円)

緊急度Ⅱ・・・約102,558千円(断面修復)

合計・・・約835,788千円



管更生施工イメージ



断面修復施工イメージ

◆国が示す緊急度に応じた対策内容

緊急度	対策内容
I	原則1年以内に速やかな対策を実施
II	応急措置を実施した上で、5年以内に対策を実施